

架け橋期カリキュラム(山口市立大内幼稚園)

めざす幼児像		●元気な子供・・・夢中になって友達と元気に遊ぶ ●がんばる子供・・・最後まであきらめず、やりぬく ●やさしい子供・・・自然や友達、身近な人々との触れ合いを深め思いやる気持ちをもつ											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4~	
期	10期(4月~5月中旬)		11期(5月下旬~7月)			12期(9月~11月上旬)			13期(11月中旬から1月)		14期(2月~3月)		レインボー(架け橋)
	年長組になった喜びを感じ、張り切って新しい生活を楽しむ時期		気の合う友達と遊ぶ中で、仲間意識が育っていく時期			友だちとの関わりを深めながら、遊びを充実させていく時期			友だちと共通の目的に向かって意欲的に取り組む時期		一年生になることへの期待が高まり、活動への取り組みに自信が見られる時期		
ねらい	○年長になった喜びを感じ、自覚をもって生活する。 ○好きな遊びを見つけ、気の合う友達と一緒に楽しむ。 ○身近な自然に関わり、興味や関心を広げる。		○自分なりの目的をもって、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○思いを伝え合ったり協力したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○身近な自然や動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付いたり大切にしたりする。			○自分の力を発揮しながら、友達と共通の目的を見出し、いろいろな活動に取り組む。 ○友達の思いやよさに気付き、認め合って生活をする。 ○秋の自然に興味・関心をもち、美しさや不思議さに感動したり、生活や遊びに取り入れれたりする。			○自分らしさを発揮しながら、目標をもって取り組み充実感を味わう。 ○共通の目的に向かって、友達と工夫したり協力したりして意欲的に学ぶ。 ○季節の行事や伝承遊びに興味や関心をもち、取り入れて遊ぶことを楽しむ。		○一年生になることへの期待をもち、自信をもって生活する。 ○生活や遊びに見通しをもち、友達と一緒に自発的に進める。 ○季節の変化に関心をもち、春の訪れを喜ぶ。		幼児期の終わりにまで育ててほしい姿
	内容	○年長児としての自覚をもち、思いやりをもって、年中児に接したり、遊んだりする。 ○生活や遊びの中で必要な言葉が分かり、思いを伝えたり、聞いたりする。 ○新しい遊びをやってみようとしたり、今まで親しんできた遊びを気の合う友達と楽しんだりする。 ○身近な春の自然や動植物に関心をもち、遊びに取り入れれたり、世話をしたりする。		○自分なりの目標をもって、いろいろな遊びに挑戦する。 ○友達と相談したり、力を合わせたりして、自分たちで遊びや生活を進めていく。 ○身近な生き物に親しみを持って接し、図鑑で調べたり飼育をしたりする中で、命の尊さに気付き大切に扱う。			○多様な動きを経験しながら運動遊びをする。 ○友達と目的をもって遊びに取り組み、相談したり、工夫したりして遊びを進めていく。 ○友達と遊ぶ中で仲間意識をもち、一人一人の思いやよさに気付き、一緒に考えながら遊びを進める。 ○秋に自然に触れ、美しさや不思議さを感じたり、遊びや生活に取り入れれたりする。			○自分なりの目標をもち、いろいろなことに意欲的に取り組む。 ○共通の目的に向かって考えを出し合い、互いに認め合いながら役割を分担して遊びを進めていく。 ○文字や数量・図形に関心をもち、生活や遊びの中で使ってみようとする。 ○伝統的な季節の行事や文化に親しみ、友達と一緒に伝承遊びを楽しむ。 ○自然の変化を感じ取り、好奇心や探究心をもって発見したり試したりする。		○卒園することを自覚し、自信や誇りをもって生活しながら、一年生になることを共に喜び合う。 ○園生活を振り返り、いろいろな人にお世話になったことに気付き、感謝の気持ちを伝える。 ○経験したことを活かしながら、友達と協力して遊びを進める。 ○日差しや風の暖かさ、草木の芽吹きなど季節の変化に気付き、春の訪れを感じる。	
活動の例(行事)		*挨拶・排泄・持ち物の始末・食事の仕方を見直す(弁当風呂敷を使う) *安全な登降園をする *当番活動をする *年中児の世話を *砂場で遊ぶ(山づくり・穴掘り・ままごと) *リズムに合わせて遊ぶ(年中児で経験したダンス) *かいたりつくったりする(共同こいのぼり) *戸外で遊ぶ(鬼ごっこ・エンドレスリレー) *集団遊び(たけのこいっぽん・いすとりゲーム) *園外に出かける(近隣の公園・ザリガニつり) *春の自然で遊ぶ(たけのこて遊ぶ・豆苗・ままごと) *虫を飼育する(アオムシ・ダンゴムシ) *野菜の収穫をする(イチゴ・スナップエンドウ) *野菜を植える(ピーマン・キュウリ) *絵本(『ざりがにのおうさままっかちゃん』) *歌(「さんぽ」) 《始園式・入園式・健康診断・交通安全教室》		*歯磨きをする *水分補給をする *梅雨期の生活の仕方を知る(雨具の扱い方・室内での過ごし方) *プールの使い方を確認する・水着の始末をする *運動遊びをする(サーキット遊び・巧技台・鉄棒) *プールで遊ぶ(顔つけ・バタ足・伏浮き) *楽器遊び(打楽器・ハンドベル) *かいたりつくったりする(七夕飾り・おみこし) *夏の遊びをする(草花の色水・水鉄砲・シャボン玉) *泥で遊ぶ(泥んこ遊び) *砂で遊ぶ(川・ダム) *ダンボールで遊ぶ(忍者屋敷をつくる) *小動物を飼育する(ザリガニ・カタツムリ・カエル) *花壇や畑の世話を *芋の苗をさす *野菜の収穫・クッキングをして食べる(カレー) *絵本(『どろんこハリー』) *歌(「かえるの合唱」輪唱) 《七夕会・夏祭り》			*衣服の調節をする *ハンカチを使う *身の回りを整理する *夏休みの経験を話す *運動遊びをする(サーキット遊び・かけっこ) *ルールのある運動遊びをする(リレー・つなひき・玉入れ・しっぽとり) *ページェント(野外劇)をする *秋の自然物で遊ぶ(飾りをつくる・じゅず玉通し・こま・コリントゲーム) *園外に出かけ、実りの秋を体験する(木の実拾い・リンゴ狩り・芋掘り) *クッキングをする(豚汁・焼き芋) *虫とり(バッタ) *種とり(オクラ・アサガオ) *絵本(『おおきなおおきなおもい』・『ともだちや』) *歌(「とんぼのめがね」創作) 《運動会・芋掘り・遠足》			*寒さの中で生活の見直しをする(防寒具の始末・手洗い・うがい) *表現遊びをする(劇・合奏・OHPを使った影遊び) *遊びの中で必要なものをつくる *戸外で体を動かして遊ぶ(ドッジボール・マラソン・縄跳び・サッカー) *正月遊びをする(カルタ・こま・すごろく・凧揚げ) *ことばあそび(なぞなぞ・しりとり) *ごっこ遊びをする(郵便屋さん) *晩秋の自然物に触れて遊ぶ(落ち葉を見立てる) *水栽培をし、生長の様子を見る(ヒヤシンス) *冬の自然に触れて遊ぶ(霜柱・氷・雪・つらら) *絵本(『11ぴきのねこふくろのなか』・『十二支のはなし』) *歌(「うたえバンバン」・「十二支のうた」) 《発表会・クリスマス会》		*生活の見直しをする(早寝早起き・食事・持ち物の始末・立って靴を履く・配布物を折る) *飼育物の引継ぎをする *小学校へ授業見学に行く *卒園の準備をする(作品の整理・掃除) *挨拶や感謝の言葉を言う *かいたり、つくったりする(ひな人形・大きくなった自分・年中児へのプレゼントづくり) *ごっこ遊びをする(お店屋さん) *楽しかった遊びをする(ページェント・リレー・鳴子・だるまさんがころんだ) *春探しをする(つくし・梅の花・菜の花・アオムシ) *絵本(『おおきくなるっていいことは』・『1ねん1くみの1にち』) *歌(「ドキドキン一年生」) 《節分会・ひなまつり会・お別れ会・卒園式》	
	環境の工夫 ●教師の援助	●安定した園生活が送れるように一人一人の気持ちを受け止め、気の合った友達と好きな遊びができるように援助していく。 ○生活習慣や園生活のきまりを見直す。 ○当番活動の内容について話し合いをもち、期待をもって取り組めるようにする。 ●体を動かして遊ぶ心地よさや楽しさが味わえるように、教師も戸外で一緒に遊ぶ。 ●年中児との関わる様子を見守り、意欲的な姿を認め必要な時は援助する。 ●友達と関わることで必要な言葉に気付かせたり、挨拶をかわす心地よさや大切さを知らせたりする。 ○気の合う友達との遊びを大切にしながらも、様々な友達と関わるように、クラス全員で遊びを楽しめる時間と場を設ける。 ●自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりできるように仲立ちをする。 ○●いろいろな造形遊びが楽しめるように材料・用具を整え、使い方を知らせながらやってみようとする姿を見守る。 ●子どもの驚きや発見に共感し、身近な自然に関心がもてるようにする。 ○散歩を通して、地域に目が向けられるようにする。		○●衛生面に留意し、汗の始末や水分補給の大切さを知らせ、自分から行動できるように促す。 ●自分なりの目標に向かって自発的に取り組んだり、試行錯誤しながらあきらめずにやり遂げようとしたりする姿を認め自信がもてるようにする。 ○プールでは、安全に遊べるように使い方や決まりを確認する。 ●教師も一緒に楽しみながら試したり工夫したりする面白さに気付くようにする。 ●子ども同士がアイデアを出し合い自分たちで遊びを進めようとする場面を大切に、価値づける。 ●思いを伝え合っている様子を見守りながら、必要に応じて助言や仲立ちをする。 ○友達同士でリズム打ちを楽しめるように簡単な楽器が自由に使える場を設け、使い方を知らせる。 ○夏野菜の栽培や花壇の水やりなどを一緒にする中で、成長や「食」に関心がもてるようにする。 ○●飼育している生き物の世話の仕方を伝えたり、成長の気付きに共感したりし、愛情をもって関わるようにする。 ○七夕の由来を伝え、伝統行事や夏の夜空などに関心がもてるようにする。			●友達の前で、思いが伝わるように援助する。 ○●友達と一緒に運動遊びを取り組めるような場や道具・用具などを準備し、多様な動きを経験する中で体の動きを調整できるように配慮する。 ●自分なりの目標に向かって挑戦したり頑張ったりする姿を認め、自信につながるようにする。 ●子ども同士で励まし協力する姿を認め、やり遂げた喜びが味わえるようにする。 ○共通のイメージをもち、表現遊びが楽しめるようにお面やペープサート、音楽などを準備する。 ●表現したいという子どもの気持ちを大切に受け止めながら、工夫したり考えたりする姿を認めていく。 ○●ぶつかり合いや意見の食い違いに気づき、解決したり振り返ったりできるように気持ちに寄り添い、見守ったり一緒に考えたりする。 ○●いろいろな造形遊びが楽しめるように、自然物や材料などを準備する。またホットボンドなど用具の扱いについては危険のないように十分配慮する。 ○集めた木の実や木の葉を分類し、形や種類の違いに気付けるように声をかけたりする。 ○芋掘りや果物狩りの体験を通して、実りの秋に感謝の気持ちももてるよう話をし、「食」に関して興味や関心をもち、進んで食べようとする気持ちが育つようクッキングの機会を設ける。			○●健康に生活するために、衣服の調整やうがい・手洗いの必要性を確認し、自分から進んでできるようにする。 ●体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにするとともに、自分たちでルールを考え、遊びを進めていこうとする姿を認める。 ●自分なりに挑戦したり頑張ったりしている姿を見守っていくとともに、工夫しているところを認め自信がもてるようにする。 ○●文字や数量、図形に関心をもち遊べるようにそれぞれに応じた環境を整え、援助をする。 ○●一人一人の考えやイメージを丁寧に受け止めながら、クラスのみんなで共有し、さらに発想が広がるように話し合う場を設け、いろいろな表現遊びが楽しめるようにする。 ○●友達の歌声や楽器の音に気付くことで、合わせる心地よさを感じられるようにする。 ●共通の目的に向かい、みんなて協力したことをとまり喜び、互いに認め合うようにすることで、やり遂げた満足感や達成感を味わえるようにする。 ●自然の変化への驚きや発見・感動に共感する。 ○●伝統的な行事や文化について話をし、伝承遊びを楽しめるようにやり方を教えたり、励ましたりする。		○●卒園に向けて園生活を振り返り、思い出を話し合いながら互いの成長やいろいろな人にお世話になったことに気付き、自信や感謝の気持ちにつながるように配慮する。 ○●小学校について話したり、小学生と関わったりする機会を通して、就学に期待と希望がもてるようにする。 ○●子どもと一緒に見通しをもって遊びや行事の計画を立て、残りの園生活が充実するようにする。 ○イメージしたものがつくられるように、様々な材料や用具を用意する。 ○友達と一緒に今まで経験してきた遊びを思う存分楽しめるように、場や十分な時間を設ける。 ●子供が考えたり決めたりしたことを受け止め、やり遂げられるように援助する。 ●友達と一緒に遊びを進めたり、問題を解決しようとしたりする姿を見守り認める。 ○文字や数字への興味を大切に、いつでも見たり使ったりできるよう環境を用意しておく。 ○当番活動の仕方を年中児と一緒にしながら伝えたり、教えたりする機会をもつ。 ○●自然に触れる中で春の訪れに気づいたり、感じたりしたことを伝え共感し合う場を大切に。	
○●時期や季節に合わせた環境を用意し、子どもたちが興味・関心をもち、主体的に関われるようにする。(四季の自然物や扱うための道具・ダンスや体操の曲・様々な廃材・製作のための素材や道具・運動遊具・図鑑や絵本など) ●教師がすぐに教えたり、説明したりするのはなく、子どもの姿を見守ったり、「どれにしたい?」「どのようにしたい?」「なぜかな?」と尋ねたりし、自分の思いやこれまでの経験、学びを生かせるようにする。 ●日々、遊びの振り返りを大切に、子どもたちの思いを明日に生かした活動が展開できるようにする。													

⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

架け橋期カリキュラム(山口市立大内南小学校)

めざす児童像	●自分から興味をもって学ぶ子 ○目標をもって学習や健康・体力づくりに励む子 ○人の話をしっかりと聴ける子 ○学習習慣が身につけて、自ら進んで学習できる子 ○自分のよさに気づける子 ●誰とでも温かく助け合う子 ○友だちと進んでかわり合い、学び合うことができる子 ○やさしい言葉遣いができる子 ○誰とでも仲良く、働ける子 ○いじめを許さない子 ●笑顔でやり抜く元気な子 ○学校・家庭・地域でしっかり挨拶ができる子 ○社会や学校のルールを守る子 ○時間を守って行動できる子 ○マナーを守って食事できる子													
～3	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		
レインボー(架け橋)	期	1学期前半			1学期後半			2学期前半			2学期後半		3学期	
幼児期の終わりにまで育てほしい姿	ねらい	○小学校になった喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期			○小学校生活に慣れ、安心して自信をもって様々なことに関わり、友達と楽しく過ごす時期			○初めてのことに進んで取り組み、苦手なことや難しいことにも友達と励まし合いながら、挑戦する。 ○友達の思いや願いに気づき、相手のことを考えながら自分の思いを表現する。 ○自分がやらなくてはならないことを考え、行動する。			○課題を自分事としてとらえ、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。 ○友達と思いや願いを伝え合ったり、協力したりしながら、一緒に学習や活動を進める。 ○学校や学級の一員として、自分にできることは何かを考えて行動する。		○1年間を振り返り、身近な人々の支えに気づき、感謝の気持ちをもつとともに、2年生への期待と展望をもち、自信をもって生活する。 ○自分の成長や友達の良さを認め合う大切さに気づき、友達と一緒に課題の解決に向けた学習や活動を進める。 ○自分ができるようになったことが多くあることに気づき、さらにチャレンジして、自分の力を伸ばす。	
⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現	内容	◎学校生活にかかわる活動に関心をもち、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりする。 ○学校にはいろいろなきまりがあることを知り、みんなが楽しく学校生活を送れるようにする。 ○時間を守ることに気づく。 ○自分の好きな形や色を使って、思い浮かべたものを表す。 ○友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする。 ○遊具の遊び方や約束を知り、順番を守って遊ぶ。 ○名前カードを作って、友達と交流する。 ○仲間集めをして、数を数えたり、大小を比べたりする。			◎身近な自然や季節の変化に関心をもち、遊びを通して友達と進んで関わったり、遊びを工夫したりして、自分たちの生活を楽しむ。 ○友達の良さに気づき、みんなで仲良く学校生活を送ろうとする気持ちをもつ。 ○体験したことや出来事を文に書く。 ○身近にあるものを使って、いろいろな形を作る。 ○箱の形や色から思いついたものを表す。 ○水に慣れる遊びや浮く・もぐる遊びをする。 ○リズムを打ちながら音楽を聴いたり、拍ののってリズムの違いを意識しながら表現したりする。			◎それぞれが経験してきたことを出し合って、自分たちの生活をより楽しくしたり、遊びを創り出したりするとともに、身近な環境で学習課題を見つけ、取り組む。 ○身の回りから片仮名で書く言葉を見つけたり読んだり書いたりする。 ○友達の話を聞き、質問したり感想を言ったりする。 ○身近にあるものの長さ、かさを比較する。 ○互いの声や音を聴き合いながら歌ったり演奏したりする。 ○色水をつくることから思いついたことを試す。 ○物語を聞いたり読んだりして思い浮かべたことを絵に表す。 ○マットや器械・器具を使った運動をする。			◎自分を支えてくれている家族のことや自分でできることなどに関心をもち、自分の役割を積極的に果たしたり、自分なりに表現方法を工夫したりする。 ○分かったことを文章などで表す。 ○伝えたいことを手紙に書く。 ○色板や棒を並べたり、点を線でつないだりして、いろいろな形を作る。 ○打楽器の音色の良さや面白さを感じ取って、互いの音や演奏の仕方をくらべながら表現したり、曲全体を味わって聴いたりする。 ○箱や袋を使って入れ物を作る。 ○乗ってみたいものや、行ってみたい場所を思い浮かべながら表す。 ○ボールゲームを工夫して楽しむ。		◎自分自身の成長に関心をもち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもつ。 ○お話のまとまりを捉え、好きなところを探す。 ○何時何分かを読む。 ○わらべうたのよさや面白さを感じ取って友達と一緒に歌ったり体を動かして遊んだりする。 ○身の回りにある材料を並べながら、思いついたことを試す。 ○鬼遊びやボールゲームを工夫して楽しむ。 ○自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする。	
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性 ⑤社会生活との関わり	単元の例《行事》	【生】がっこうだいすきあいうえお いくぞ!がっこうたんけん 【国】どうぞよろしく ききたいなともだちのはなし 【算】わくわくすたあと なんばんめ かずとすうじ 【音】うたってなかなよし みんなであそぼう 【図】すきなものいっぱい すなやつちとなかなよし 【体】ゆうぐあそび リズムあそび かけこ・リレー 《運動会》 【道】ようこそ!ねんせい がっこうにはね 【学】1年生になって 校内のきまり 学校の行き帰り 給食の仕方 トイレや水道の使い方			【生】げんきにそだてわたしのはな あそびばにてかけよう なつとなかなよし 【国】あいうえおであそぼう おおきなかぶ 【算】いろいろなかたち たしざん ひきざん 【音】ぶんぶんぶん ことばでリズム 【図】はこでつくったよ ひもひもねんど 【体】みずあそび 【道】みんないっしょ ぼくのあさがお 【学】避難の仕方 お楽しみ会をしよう			【生】生きもの大さき あきとなかなよし 【国】ききたいなともだちのはなし くじらくも 【算】なんじなんじはん おおきさくらべ 【音】どれみであいさつ まねっこあそび 《音楽会》 【図】おはなしからうまれたよ カラフルいろみず 【体】マットあそび とびばこあそび てつぼうあそび 【道】ぼくのおしごと ダメ 【学】学級の係をきめよう 楽しい社会見学 《社会見学》			【生】ひろがれえがお 【国】かん字のはなし じどうしゃくらべ ともだちのことしらせよう 【算】かたちづくり もののいちとかず たしざん② ひきざん② 【音】おとさがし きらきらぼし 【図】かざってなにいれよう のってみたいないきたいな 【体】ボール投げあそび じきゅうそう 《記録会》 【道】どんぐり おうだんはどうで 【学】さそいのにのらない お楽しみ会をしよう		【生】ふゆとなかなよし もうすぐ2年生 【国】たぬきの糸車 どうぶつ赤ちゃん いいこといっぱい一年生 【算】大きいかず なんじなんぶん 【音】おちゃらか あいあい こいぬのマーチ 【図】かみざらコロコロ いっしょにおさんぽ 【体】ボールけりあそび おにあそび 【道】はしのうえのおおかみ もうすぐ2年生 【学】パソコン学習 1年間の思い出をまとめよう 6年生を送る会の準備をしよう お別れ会をしよう	
○環境の工夫 ●教師の支援	●45分という時間に縛られず、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を使ったり、時間の境目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。→実態に応じて45分の授業に慣れるようにする。 ●幼稚園や保育園で経験したことがある遊びを活動に取り入れるとともに、1年生への期待感や不安感に寄り添ったりしながら、学校生活に慣れるようにする。 ●友達と遊んだり、関わったりする活動を通して、その良さや楽しさが分かり、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。 ○机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、「教室=自分の居場所」として意識し、安心感をもって学校生活が送れるようにする。 ○生活科を核とした総合的な指導や体験的な活動を積極的に取り入れる。 ○1日の生活がスムーズに進められるよう、視覚支援を大切にす。 ＊1日の活動の流れの可視化・・・時計・文字・絵・写真などを活用してわかりやすく表示する。 ＊姿勢・片付け・約束などの掲示物は、文字だけでなく写真やイラストを用いて示す。 ＊ロッカーの使い方、靴箱の使い方、机の中の整理、鉛筆の持ち方、トイレや手洗い場の使い方などについては必要に応じて拡大したり、手順を記したりするなど、表示を工夫する。 ○子どもたちが自ら気づくことができる場所に学習課題や活動のきっかけになるようなものを準備する。 ●教師がすぐにやり方を教えたり、説明したりするのではなく、子どもたちに「前ははどうしていたかな?」「どうすればいいと思う?」と尋ね、子どもたちに話をさせたり、友達の話に付け加えをさせたりする場面を設け、これまでの園での経験や学びを生かせるようにする。 ●子どもたちの振り返りを大切に、指導に当たるとともに、それを生かした活動が展開できるようにする。													
2年生以降もつづく														

